

キャラクター名

プレイヤー名

広瀬 重貴（ひろせ しげゆき）

シンドローム	ノイマン ウロボロス		ワークス	暗殺者	カヴァー	流川マーケット店長
	オプショナル		年齢	43	性別	男
覚醒	渴望	衝動	闘争		初期侵食率	47 %
出自	天涯孤独	経験	汚点		邂逅	闘争

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	1	0	0			1	行動値	-1
感覚	1	1	0			2	(非装備時)	-1
精神	5	0	0			5	戦闘移動	4
社会	1	0	0			1	全力移動	8

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	2		R C			交渉		
回避			知覚			意志			調達	4	
運転：	2		芸術：			知識：	2		情報：裏社会	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ビヨンドザナイト		0		28		装甲無視、至近不可、セットアップで展開

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：	0	合計回避：	0
スモールチェスト		ロイス			
故売品					
ウェポンケース		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ タス
コネ：情報屋＊ストーン		[UA03] 封具/ストレンジグッズ	P	N	消費
コネ：傭兵＊サヴィ		“Green Tip (グリーンチップ)”	P 連帯感	N 疎外感	
コネ：手配師		“BBBs”	P 信頼	N 隔意	
ブラックカード		[ネットショップ] 瓦蘭堂	P 親近感	N 敵愾心	
高性能治療キット		チャッピー	P 同情	N 脅威	
予備弾倉		Cut away	P 連帯感	N 憐憫	
		辨仙	P 感服	N 不快感	
		最大財産P:		10	残り財産P：
					7

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
武芸の達人	5	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：〈射撃〉＋達成値Lv×3								
ビヨンドザナイト	10							
効果：「ビヨンドザナイト」入手								
故売品	3							
効果：常備化P+15								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

裏社会の武器の流通を生業とする用具店にして、数多の“付喪神”を束ねる元FHマーセナリーの暗殺者。在庫を管理運営する“Beck（ベック）”、格納した仕事道具を取り出す“Box（ボックス）”、そして肩に背負われた新たな相棒“Bellamy（ベラミー）”。ワンマンアーミーとして復帰した彼は、そんな3匹の怪物を引き連れている。最適かつ無尽蔵の兵器投入の様子から“第八倉庫”が現在の広瀬の通り名となっている。

ミリタリーグッズやサバイバルゲーム用品を扱う“流川マーケット”。そこでは会計の際にとある合言葉を伝えることで裏に案内される。扉の先はオーヴァード専用の物品が並ぶ“倉庫”らしい。汎用量産装備から知る人ぞ知る裏物まで一通り取り揃えており、どの組織の需要にも応えられる。口にした合言葉、購入使用の目的、広瀬との関係値によってどの“倉庫”の扉が開かれるかが決まるのだ。これまでの経歴と扱う品々の黒さから当初はUGNから敵視されていたが、UGNにまで門を開くセカンドライフの営業方針と、敵だ味方だと言ってられない世界情勢から中立のイリーガルというお墨付きを頂いている。しかし、こうしてこのパーソナリティを閲覧されているということは、個の戦力としての、群の戦力としての―――“第八倉庫”に用があるはずだ。

もともと所属していたのはFHマーセナリーが集う戦闘傭兵ギルド“Ever Time”。雇われたセルの都合に振り回され無数の戦場を駆け巡った。若さゆえの無鉄砲さと積み重なる実績による自負。そんなものに酔っ払ってレネゲイドとエフェクトに物を言わせ続けた代償は、〈リザレクト〉しなかった利き手の母指と食指によって払われた。過酷な戦場に身を晒し続けたことでガタが来たのだ。年々エフェクトの力は目減りするのに反比例して、ひとつのエフェクトだけでも侵蝕率が跳ね上がるようになった。“ジャーム”まで突き抜ける同僚も少なくなかったが、“職業軍人”としての在り方に誇りをもっていた彼はおとなしく第一の人生に終止符を打ったのだ。

前戦で培ったコネとパイプ、それに対して手付かずの預金残高に命拾いした。商店の長としての人生が軌道に乗り始めるまでにはそう時間はかからなかった。いくつものルートから潤沢で十分な在庫が卸されるだけでなく、名の知れた一点ものやいわゆる秘蔵品が舞い込み買い手がつくことも少なくなかった。万事順調だった。順風満帆といっていい。それなのにどうしてだろう。足繁く店を訪ねる元同僚たちの目線から「戦場から逃げた臆病者」という言葉が聞こえてくるのは。本当に情けなく思う。そのような負い目に髪を引かれ、ふたたび得物を背負って戦場に向かってしまうこの血と性を。

“第八倉庫”には商店を営む課程にて広瀬が手にした個人収集品の数々が収められている。UGNから目をつけられているEXレネゲイド、FHが注目する性質を秘